

## 編集後記

『独逸文学』68号をお届けします。

何事も先送りし、ぎりぎりまで動かない性格が今回は特に災いし、ほうほうで原稿の依頼が遅れました。執筆者のかたがたには急がせてしまい、ご迷惑をおかけしました。

筆者も関わっている翻訳『少年の鑑』が11回目で完結となりました。共訳者が「エッセイ」で述べているように、およそ1ヶ月に1度研究会を行い、12月～1月には訳文を再度検討し、投稿するというのを毎年欠かさず行ってきました。その成果を前に、「塵も積もれば…」の諺をかみしめています。文法にかなった訳にするか、読んで楽しい意識にするかは永遠の課題で、これから先も両者の間で悩み続けるでしょう。今後は翻訳だけでなく、論文や語学エッセイの形でも研究会の成果を還元し、ドイツ語への関心を呼び起こしていければと考えています。

引き続き、みなさまの投稿をお待ちしています。

(文責：工藤)

編集委員：工藤康弘（責任者）、柏木貴久子、齊藤公輔

### 当学会誌の編集方針

1. 本学会誌の内容はドイツ語圏の言語・文学・文化およびドイツ語教育に関する論文、マルジナリア、書評、翻訳、エッセイなどとし、原則として会員からの投稿とする。ただし、編集委員が会員以外に特別に原稿を依頼することがある。その他に、シンポジウム報告、修士論文要旨、学生の優秀論文要旨、卒業論文題目一覧、本学会の行事記録、前年度の会計報告を掲載する。
2. 投稿原稿の採否は編集委員会が行う。その場合、査読を編集委員以外に別に委嘱することがある。
3. 執筆要領は別に定める。
4. 投稿希望者は予定題目とその概要を期日までに編集委員会宛にあらかじめ提出しなければならない。詳細は執筆申し込み要領を参照のこと。

独 逸 文 学 68

2024年3月20日 発行

関西大学独逸文学会

編集兼  
発行者

吹田市山手町3-3-35  
関大独文研究室内  
電話・大阪(06)6368-0324

郵便振替口座  
口座名称

00910-5-116831  
関西大学独逸文学会

印刷所

株式会社 田中プリント

(非売品)



# DIE DEUTSCHE LITERATUR

68

2 0 2 4

Gesellschaft für Germanistik  
der Kansai Universität  
Osaka Japan